

災を防ぐために

火が出たら 落ち着いて初期消火

火災が発生したら、周りに大声で知らせるとともに、火が小さいうちに消火器などで初期消火してください。もし、危ないと感じたら、無理をせず、周りの助けを求めてください。



自宅にも消火器を備えておきましょう!

初期消火は お隣同士で協力を

近隣で火災が発生したら、近隣同士で協力し合い火が大きくなるよう早期に初期消火をしてください。



力を高める!



✓ あなたのまちの身近な防災用具を確認しよう

自分の身近な地域に配置されている防災用具はどんなものが、どこにあるのか、防災訓練などを通して日頃から知っておくことが重要です。

消火器

街頭

地震などの災害に備えて、初期消火のため、道路などに設置されている消火器です。



スタンドパイプ

防災倉庫※

地域住民が初期消火に使う資器材です。消火栓等に差し込み、使用します。スムーズな吸水作業を行う事ができ手軽に放水が可能です。



可搬消防ポンプ

防災倉庫※

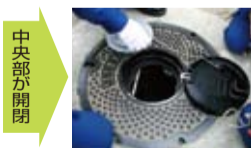
初期消火用のポンプで、防火水槽等から吸水し使用します。小型ながら1分間に130リットル以上の放水が可能です。都内に約3,400台設置されています。



防火水槽

公園等

消火用の水を溜めた水槽で、現在災害時に地域住民が容易に使えるよう、木造住宅密集地域を中心に、防火水槽の蓋を、軽量で開閉しやすい小蓋を備えた親子蓋に順次交換しています。



※防災倉庫: 地域防災の備えとして様々な物資が保管されている倉庫で、公園や学校などに設置されています。

防災訓練には、消火訓練のほかに、避難訓練、救出訓練や応急救護訓練など様々な訓練があります。いずれも自分たちのまちを守るために必要な訓練ですので、積極的に参加しましょう。



覚えておくといざという時に役に立ちます

応急手当は、応急救護訓練や救命講習で学べます。



1. 声をかける

肩をたたきながら声をかける。反応がなかったら、大声で助けを求め119番通報とAEDを依頼する。

2. 呼吸の確認

胸とおなかの動きを見る。動きがなければ心肺蘇生を行う。

3. 胸骨圧迫

AED到着まで胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す。胸骨圧迫は、胸の真ん中を「より早く、強く」押す感じで。

4. AEDの活用

AEDの電源を入れ、電極パッドを体に貼りAEDの音声に従う。電気ショックの必要性などはAEDが判断します。

意識から行動へ! さあ防災訓練を!

倒れている人をみかけたら

応急手当の手順
東京消防庁 モバイルホームページの「応急手当の手順」に詳しい説明があります。



防災館のお問合せは

本所防災館 03-3621-0119
池袋防災館 03-3590-6565
立川防災館 042-521-1119